

# 入試情報



西田博太郎先生像(理工学部4号館前)  
第2代校長(1918年8月 - 1945年11月)

# 平成30年度理工学部推薦入試

(今年11月実施)

- ① 機械知能システム理工学科  
環境創生理工学科  
電子情報理工学科
  
- ② 化学・生物化学科

# 平成29年度（昨年11月実施）推薦入試

機械知能システム理工学科、環境創生理工学科、  
電子情報理工学科の推薦入試において  
選抜方法を変更します。

以下の2項目を総合して判定します。

- ①出願書類 調査書、推薦書\*
- ②面接

\*高校在学中の「活動歴」がある場合は、その内容を確認できる資料  
（原則3点以内）を提出できます

平成30年度（今年11月実施） 推薦入試

平成31年度（来年11月実施） ← 変更点①

機械知能システム理工学科、環境創生理工学科、  
電子情報理工学科の推薦入試において  
選抜方法を変更します。

以下の2項目を総合して判定します。

- ①出願書類 調査書、推薦書\*
- ②面接

\*高校在学中の「活動歴」がある場合は、その内容を確認できる資料  
（原則3点以内）を提出できます

# 平成32年度（再来年11月実施）推薦入試

↓ 変更点②

機械知能システム理工学科、環境創生理工学科、  
電子情報理工学科の推薦入試において  
選抜方法を変更します。

以下の**3項目**を総合して判定します。

- ①出願書類 調査書、推薦書\*
- ②面接
- ③英語 外部検定試験の成績による評価

\*高校在学中の「活動歴」がある場合は、その内容を確認できる資料  
（原則3点以内）を提出できます

※ **変更の可能性ががあります**ので、「入学者選抜に関する要項」並びに  
各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認願います。

# 平成30年度理工学部推薦入試

(今年11月実施)

- ① 機械知能システム理工学科  
環境創生理工学科  
電子情報理工学科
  
- ② 化学・生物化学科

# 平成29年度（昨年11月実施）推薦入試

化学・生物化学科の推薦入試において  
以下の3項目を総合して判定します。

①出願書類 調査書、推薦書\*

②面接

③小論文 【出題範囲】

数 学：数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B

理 科：化学基礎、化学

\*高校在学中の「活動歴」がある場合は、その内容を確認できる資料  
(原則3点以内)を提出できます

平成30年度（今年11月実施） 推薦入試

平成31年度（来年11月実施） ← 変更点①

化学・生物化学科の推薦入試において

以下の3項目を総合して判定します。

①出願書類 調査書、推薦書\*

②面接

③小論文 【出題範囲】

数 学：数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B

理 科：化学基礎、化学

\*高校在学中の「活動歴」がある場合は、その内容を確認できる資料  
（原則3点以内）を提出できます

※ **変更の可能性が**ありますので、「平成30年度 入学者選抜に関する要項」  
並びに 各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認願います。

# 平成32年度（再来年11月実施）推薦入試

↓ 変更点②

化学・生物化学科の推薦入試において  
選抜方法を変更します。

以下の4項目を総合して判定します。

①出願書類 調査書、推薦書\*

②面接

③小論文【出題範囲】

数 学：数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B

理 科：化学基礎、化学

④英語 外部検定試験の成績による評価

\*高校在学中の「活動歴」がある場合は、その内容を確認できる資料（原則3点以内）を提出できます

※ **変更の可能性ががあります**ので、「入学者選抜に関する要項」並びに各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認願います。

# 平成31年度（来年11月実施）推薦入試

## 特別枠（GFL枠）の導入

← 変更点③

**GFL** グローバルフロンティアリーダー育成プログラム

化学・生物化学科、機械知能システム理工学科、  
環境創生理工学科、電子情報理工学科とも若干名の募集人員

一般枠の出願書類に加えて、以下を提出

- ・GFL 特別枠志望理由書
- ・英語外部検定試験の成績

※ **変更の可能性が**ありますので、「入学者選抜に関する要項」並びに各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認願います。

## 関連日程

AO入試

出願期間:8/1~8/4

第一次選抜(書類選考)

第二次選抜 9月8日(金)

推薦入試

出願期間:11/1~11/6

11月22日(水)

前期日程試験

出願期間:1/22~1/31

2月25日(日)

後期日程試験

出願期間:1/22~1/31

3月12日(月)

※ 「平成30年度 入学者選抜に関する要項」 並びに  
各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認願います。

# 平成30年度 理工学部募集人員(予定)

学 科	AO入試 専門学科 ・ 総合学科	推薦 試験	前期 日程 試験	後期 日程 試験	総計
化学・生物化学科	2	60	86	12	160
機械知能システム理工学科	4	33	60	13	110
環境創生理工学科	2	28	50	10	90
電子情報理工学科	5	35	70	10	120
総合理工学科	-	-	27	3	30
理工学部合計	13	156	293	48	510

# 平成30年度 入学試験科目(予定)

	特別入試		一般入試(分離・分割方式)			
			前期日程試験		後期日程試験	
	AO	推薦	センター試験	個別学力検査等	センター試験	個別学力検査等
化学・生物化学科	1次:書類選考 2次:面接(口頭試問含む)	面接 (口頭試問含む) 小論文 (数学、理科(化学))	国語、 地歴・公民1科目、 数学2科目、 理科2科目、 英語 【5教科7科目】	数学、理科(「物基・物」、「化基・化」、「生基・生」から1)、英語	国語、 地歴・公民1科目、 数学2科目、 理科2科目、 英語 【5教科7科目】	面接
機械知能システム理工学科	1次:書類選考 2次:面接(口頭試問含む)、 小論文	面接 (口頭試問含む)		数学、理科(「物基・物」、「化基・化」から1)、英語		面接
環境創生理工学科	1次:書類選考 2次:面接(口頭試問含む)	面接 (口頭試問含む)		数学、理科(「物基・物」、「化基・化」から1)、英語		面接
電子情報理工学科	1次:書類選考 2次:面接(口頭試問含む)、 プレゼンテーション	面接 (口頭試問含む)		数学、理科(「物基・物」、「化基・化」から1)、英語		面接
総合理工学科	—	—		数学、理科(「物基・物」、「化基・化」、「生基・生」から1)、英語		面接

※詳細は「平成30年度 入学者選抜に関する要項」並びに 各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認ください。

# AO入試(平成29年度実績)

学 科	募集人員	受験者数	合格者数	実質倍率
化学・生物化学科	2	4	2	2.00
機械知能システム理工学科	4	7	4	1.75
環境創生理工学科	2	4	1	4.00
電子情報理工学科	5	10	7	1.43
理工学部合計	13	25	14	1.79

# 推薦入試(平成29年度実績)

学 科	募集人員	受験者数	合格者数	実質倍率
化学・生物化学科	60	85	63	1.35
機械知能システム理工学科	33	54	34	1.59
環境創生理工学科	28	57	33	1.73
電子情報理工学科	35	77	37	2.08
理工学部合計	156	273	167	1.63

# 一般入試入学者選抜(平成29年度実績)

学 科	前 期 日 程				後 期 日 程			
	募集 人員	受験 者数	合格 者数	実質 倍率	募集 人員	受験 者数	合格 者数	実質 倍率
化学・生物化学科	86	179	98	1.83	12	57	25	2.28
機械知能システム理工学科	60	187	74	2.52	13	36	18	2.00
環境創生理工学科	50	108	60	1.80	10	27	12	2.25
電子情報理工学科	70	167	74	2.26	10	40	15	2.67
総合理工学科	27	33	21	1.57	3	25	15	1.67
合 計	293	674	327	2.06	48	185	85	2.28

# A0入試について

- 対象：専門学科・総合学科の生徒  
(取得単位数の要件あり)
- 実施日程
  - 募集要項発表：平成29年7月上旬
  - 出願期間：平成29年8月1-4日
  - 第一次選抜（書類選考）  
合格発表：平成29年9月1日
  - 第二次選抜試験：平成29年9月8日

※ 「平成30年度 入学者選抜に関する要項」 並びに  
各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認願います。

# A0入試について

- 第一次選抜（書類選考）
  - 調査書
  - 志望理由書（大学指定様式）
  - 自己推薦書（大学指定様式）  
（内容を証明する資料があれば添付。3点以内）
- 第二次選抜
  - 面接（口頭試問を含む）
  - その他小論文，プレゼンテーションなど（学科による）

※ 「平成30年度 入学者選抜に関する要項」 並びに  
各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認願います。

## H30 推薦入試提出書類の「活動歴」について

推薦入試の出願書類は以下の通りです。

●調査書

●推薦書

○「活動歴」がある場合、その内容を確認できる資料（原則3点以内）

### 活動歴の例

- ・ 英語の資格・検定試験の成績又はスコア
- ・ スーパーグローバルハイスクール又はスーパーサイエンスハイスクール活動への参加や発表
- ・ 各種大会等への参加や受賞 等

※ 詳細は「平成30年度推薦入試学生募集要項」をご確認ください。

# 面接評価のポイント①

## ○化学・生物化学科(推薦、後期日程)

- ・ 目的意識を持って、進路を選択、判断しているか
- ・ 科学に対する興味及び勉学意欲を持っているか
- ・ 化学・生物化学科の学生として必要とされる基礎学力を有しているか
- ・ 論理的な考え方をし、質問に対して適切に答えることができるか
- ・ 大学生としてふさわしい態度がとれるか

## ○機械知能システム理工学科(推薦、後期日程)

- ・ 志望の理由又は受験の動機
- ・ 質問に対する答弁の的確性
- ・ 勉学意欲, 目的意識
- ・ 言葉づかい, 態度
- ・ 柔軟性, 協調性, 積極性, 主体性
- ・ 工学に関する基礎的な学力・能力の有無
- ・ 機械工学及びその知能化に対する認識度と適性度の高さ

## 面接評価のポイント②

### ○環境創生理工学科(推薦、後期日程)

- ・ 目的意識を持って進路の選択・判断を行っているか
- ・ 論理的な考え方をし、質問に対して適切に答えることができるか
- ・ 環境創生理工学を勉強する適性と強い意欲を備えているか
- ・ 理工学教育を受けるための基礎能力を有しているか
- ・ 大学生としてふさわしい態度が取れるか

### ○電子情報理工学科(推薦、後期日程)

- ・ 理工学教育を受けるための基礎能力を有しているか
- ・ 本学科で学ぼうとする意欲を自分の言葉で語るすることができるか
- ・ 自分の考えに基づく、首尾一貫した内容及び表現ができるか
- ・ 面接教員の質問の意図を理解したうえで、その意図に合致した受け答えを適切に表現できるか
- ・ 受け答えは明解で、その内容は的を射ているか

# 面接評価のポイント③

## ○総合理工学科(後期日程)

- ・ 本学科で理工学教育を受けるための基礎能力を有しているか
- ・ 本学科で学ぼうとする目的、意志を自分の言葉で明確に語るができるか
- ・ 質問の意味を正しく理解し、的確に受け答えをすることができるか
- ・ 本学科の教育方針、履修形態を適切に理解しているか

# AO入試評価のポイント (小論文、プレゼンテーション)

## ○小論文(機械知能システム理工学科)

機械知能システム理工学科で学ぶための基礎能力及び下記の点を評価する。

- ・ 英語及び国語の能力
- ・ 論理的な考察ができるか
- ・ 課題を理解して自分の考えを正しく述べられているか

## ○プレゼンテーション(電子情報理工学科)

- ・ 設定されたテーマに対して内容は十分で質が高く具体性があるか
- ・ 理科系の作文技術に従って適切に作成されているか
- ・ 適切な時間配分で内容を一貫して分かりやすく正確に伝えられるか
- ・ 意欲や熱意のある態度で審査員の興味を引くことができるか
- ・ 質問の意図を的確に理解できるか
- ・ 質問に対して自分の言葉で明確に説明できるか

# 理工学部は、国際社会で活躍できる グローバルな人材を育てます

## 理工学部の教育ポリシー

**学位授与の方針 – このような人材を育てます –**

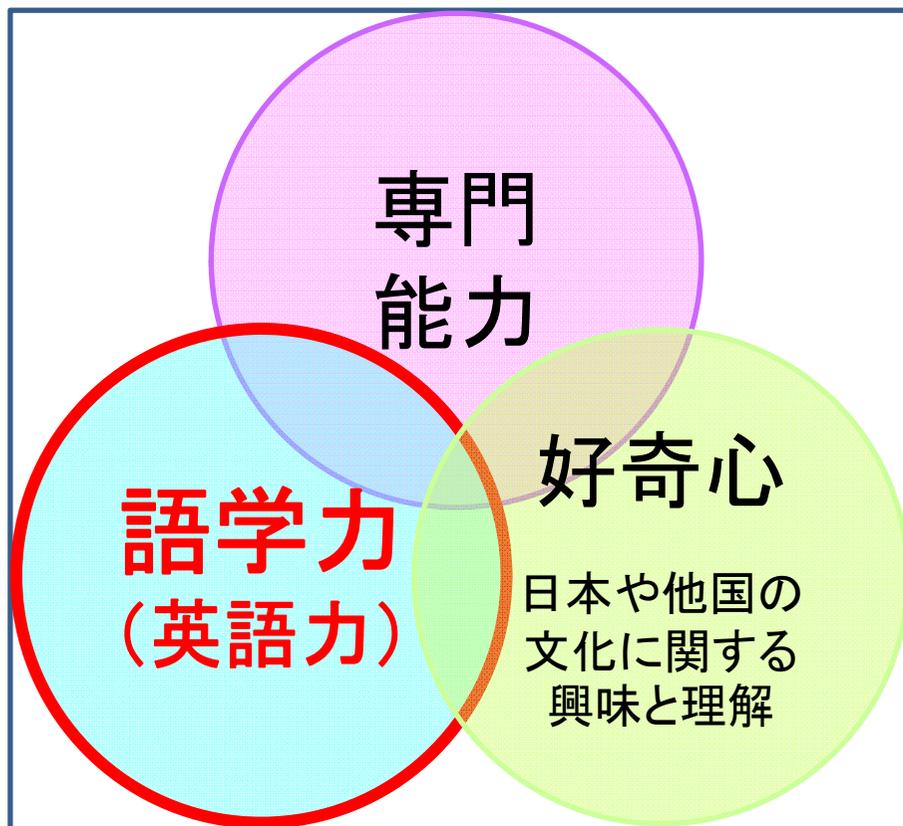
自分の考えや判断を論理的かつ的確に説明でき、他者とのコミュニケーション能力を持った国際社会で活躍できるグローバルな人材

**教育課程編成・実施の方針 – このような教育を行います –**

国際コミュニケーション能力を備え、世界を舞台に研究者・技術者として活躍できる人材を育成する教育

# グローバルな人材に求められるもの

## 国際コミュニケーション能力



**国際コミュニケーション能力は、現代の企業技術者にとっても重要！！**

**英語は「目的」では無く、コミュニケーションのための「ツール」**



**英語は得意でなくてもよい。**

**取りあえず使えれば良い。**

**(でも、上手に使えれば楽しい!)**

# 群馬大学の英語教育

(不得意な人の英語力を伸ばす教育)

## 最先端の英語教育法に基づくカリキュラム

### 1年生

- ・入学時のプレースメントテストによる  
**習熟度別クラス編成**
- ・リスニング力養成クラス(英語AI、AII)と  
リーディング力養成クラス(英語BI、BII)
- ・中学レベルからの多読プログラム
- ・e-ラーニングの充実
- ・成果確認の為にTOEIC-IP 受験(受験料無料)



**平均スコアは  
3年で40点以上  
向上! (TOEIC)**

### 2年生以降

- ・分野別専門英語
- ・多読プログラムの継続
- ・専門英語e-ラーニングの充実

大学院入試にはTOEIC(または  
TOEFL)の成績を活用



**研究者・技術者に必要な  
英語力の強化  
様々な留学制度及びその  
支援**

# 研究室では

- 英語論文の講読、執筆
- 留学生や外国人研究者の訪問
- 国際学会での発表
- 外国の研究室への訪問、共同研究



英語ができれば、海外  
研究者と交流ができる

国際会議終了後の  
記念写真

# 理工学部 英語個別学力検査について

センター試験900点＋前期個別学力検査500点

前期個別学力検査(時間・配点)

科目	時間	配点
数学	120分	200点
理科	120分	200点
英語	60分	100点

出題範囲： コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

- 試験では、英語でのコミュニケーションに不可欠な語彙・文法・リーディングに関することを、出題範囲内から基礎的かつ平易な問題を出題します。

解答方法： マーク解答及び穴埋め等記述解答